

きずなのは郷

第44号
2014 春

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成26年4月15日

目 次

理事長あいさつ	1
平成26年度事業計画	2
各施設フォトアルバム	
そば打ち	4
クリスマス会	4
もちつき	5
節分	5
わかふじ寮	6
屈足わかふじ園	6
やすらぎ荘	7
新得やすらぎ荘	7
デイサービス	8
ひまわり荘	8
人事異動	9
行事のお知らせ	9
ご寄付・ご寄贈	10
広告・HP	10
編集後記	10

“進むべき道は”

社会福祉法人 厚生協会

理事長 鈴木政輝

皆さん、お元気のことと存じます。今年の冬は異常気象のせいでしょうか、各地で大変な御苦労をされたようです。特に本州の皆さんには初めての経験であった方も少なくないようです。地球の温暖化や人間の普段何気ない便利な生活にも、「因があるのかも知れません。雪の多い地方はごく普通の生活リズムでしたが、皆さん大変ご苦労様でした。

厚生協会の伝統ある歴史は、お陰様で今年61年目になります。例年のとおり、3月に評議員会・理事会が開かれ、新年度の事業計画と収支予算が承認されました。

“施設整備着々と”

今年度は東京以北では唯一新得町にしかない聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘の改築が七月末頃完成となります。また、昨年4月に合併した社会福祉法による「授産施設厚生協会新得白生舎」の改築を予定しておりますが、国・道・町の補助が決まり次第着手いたします。

当厚生協会は身体障害者の授産施設を全国で最も早く開設いたしました。時代の流れと共に社会の仕組みや生活様式が変化し、従前通りの家具、木製品製作を主体とするだけでは利用者皆さんの工賃を十分にお渡しする事が難しくなってきました。

今一度、法人設立の原点に立ち、今年度は授産事業の内容を検証し、障害の程度に応じた就労が安定して続けられ少しでも高い工賃をお渡し出来るよう、体制の再構築を目指します。

“利用者の皆さんの幸せを”

そのため、当厚生協会の持つ人材、社会資源を十分活用しながら、新たな事業の展開を模索する年度といたします。

今、社会福祉法人のあり方が厳しく問われております。「活動内容が見えない」「社会貢献しているのか」「生活困難者の就労支援しているのか」「内部留保金をこれらに使っているのか」等が主な理由です。厳しい批判に対し、全国社会福祉法人経営者協議会が提示している対応策があります。個々の社会福祉法人がこれらを真摯に受けとめ、可能なものから速やかに実行することが国民の負託に応え、私共の社会福祉法人の将来を確実なものにしていくものと思われます。

“全国の町村で初の手話条例”

この度、全国の町村で初の、ささえ愛共に生きる「手話に関する基本条例」が制定されました。町をあげての応援に厚生協会創設60年の「感謝と絆」の歴史に改めて敬意を表するところです。そして厚生協会は、職員が230名にその家族と利用者の皆さんを含めますと約1200名にもなります大きな法人です。施設の整備は新得町民、町の皆さんのご理解によつて多額のご支援を頂いておりますが、人材確保に大変な苦労をしています。世の中、景気が良くなると医療や福祉の現場が人手不足となるとは予想もしていませんでしたし、この先、超高齢社会に立ち向かつていけるか、とても心配です。

平成26年度 厚生協会法人本部及び各施設・事業所の事業計画概要

■ 法人本部

社会保障制度を始め諸制度の動向を注視し冗費の削減に努め、社会福祉法人の使命を自覚し、各施設・事業所利用者のサービス向上と事業運営の安定を図る。

- ① 養護老人ホームやすらぎ荘の老朽改築事業の推進並びに関連付帯事業の整備。
- ② 厚生協会新得白生舎の経営安定を図りつつ、移転改築計画を推進。
- ③ 職員住宅の建設及び関連工事の推進。
- ④ 60周年記念事業の継続。
- ⑤ 新得町手話条例制定に伴う協力態勢の構築。
- ⑥ 給与規程の見直し。

■ わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者の個々のニーズに合わせた生活支援、作業支援を行い、また地域生活をする上での福祉拠点としての役割を担っていく。

個別支援計画に基づく日常の健康管理や身体機能維持等、個々のニーズに応じた適切なサービスの提供を行い、利用者の意向を尊重した質の高いサービスを目指していく。

- ① 健康支援の必要性が高い方への運動の機会等を検討し、生活習慣病の予防や体力維持を図る。
- ② 障害による身体機能の低下や、加齢に伴う身体的変化などに注意をはらうと共に、事故防止や腰痛、肩痛などの対策、取り組みを強化する。
- ③ 学校の福祉講座等の受け入れを積極的に行っていく。

■ 外部サービス利用型指定共同生活援助事業所 さくらⅠ・Ⅱ・Ⅲ（グループホーム）

利用者が地域において共同して、自立した生活を営むことができるよう、食事の提供、生活上の支援を中心に、身体及び精神等の状況に合わせた支援を行っていく。

- ① 地域生活に向けたプログラムに基づき、支援を行う。
- ② 事業所内におけるノロウイルス、インフルエンザ等感染症予防対策の徹底を図る。

■ わかふじ寮相談支援事業所

利用者、家族などからの相談に応じ、障害のある方が住み慣れた地域において自立した日常生活並びに社会生活を送ることができるよう相談支援を行っていく。

- ① 利用者が地域において自立した生活が送れるように専門的な相談や助言等を行う。
- ② 利用者の生活状況を確認し、本人の意向に沿ったサービス等利用計画案を作成する。

■ 授産事業

優先調達促進法に基づく官公庁からの受注増等の営業を強化し、販路拡大とコスト削減に取り組み売り上げ目標の達成を図る。また利用者工賃の向上に繋がる事業振興を目指す。

- ① 部門別営業・異業種との連携強化等により売り上げ目標の達成を図る。
- ② あり方検討委員会を開催し、授産事業の再構築を検討する。
- ③ 老朽改築を視野に入れたクリーニング事業の経営安定化を図る。

■ 厚生協会新得白生舎

クリーニング事業経営改善計画に基づき営業を強化すると共に、顧客満足度の向上に取り組む。

- ① 事業収入の増加及び利用者の確保を図る。
- ② 老朽改築工事の推進を図る。

■ 屈足わかふじ園

法人の基本理念及び倫理要綱・行動規範に基づき、利用者主体の支援を行うと共に、相談支援事業所と連携を図り、最適なサービス計画を作成し実施する。新たに指定特定相談支援事業所を開設する。研修の機会を設け、虐待防止や制度改革の動向など職員の資質の向上を図る。又、開所14年目を迎え、大規模修繕に向けた検討を行う。

- ① サービス利用計画と個別支援計画の連携を図りサービスの向上に努める。
- ② 虐待及び抑制に関する知識及び情報を収集し、職員の意識の向上を図る。
- ③ 記念日にちなんだ献立や特徴ある献立の提供に努める。
- ④ レクや余暇活動、通院や服薬などの情報をタイムリーに提供する。

■ 聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

利用者が新施設で安心して過ごせるように支援していく。

- ① 聴覚障害者に必要な認知症のケア等のまとめを行い地域貢献に取り組む。
- ② 本年は新築移転があり、新施設への移動で利用者の不安や混乱等が予測されるため、リスクマネジメントを事前に検討し、職員の連携を強めて利用者の生活の再構築を図っていく。
- ③ 手話に関する基本条例制定に伴い、協力体制を整備する。

■ 特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

平成27年度の介護保険法改正から、特養の入所を原則要介護度3以上が実施されるにあたり、利用者の重度化に対し引き続き口腔ケアの向上、おむつ外し、より適切な認知症ケア等が提供できるように、介護職員の基礎介護力を高めるため研修を充実し職員育成に努める。

- ① 各種講習会に参加し、基礎介護力向上と介護技術、知識の習得を目指す。
- ② 口腔機能を維持するため、歯科医師、歯科衛生士と連携し口腔ケアを継続する。

■ 日帰りサービスセンターやすらぎ荘

さまざまな利用者のニーズに合ったサービスを提供し、在宅生活を支えて行く。

- ① 新施設への移転に合わせサービス内容を再検討し、適切なサービス提供をする。
- ② 利用者のニーズに合わせた機能訓練の実施と選択が可能なサービスの内容充実を図る。
- ③ サービスの内容について自己点検を実施し、点検結果を基にサービス内容充実に努める。

■ 日帰りサービスセンターやすらぎ荘 たんぽぽ

住み慣れた地域環境で生きがいを持ちながら生活が出来るよう、日常生活支援を行う。

また、家庭的な環境で穏やかに過ごすことで、精神的ストレスを軽減出来るよう支援する。

- ① 聴覚障害者とのコミュニケーションをスムーズに行うため、手話技術の向上を図る。
- ② 小規模デイサービスの特性を生かした行事を行い、利用者の参加意欲を高め、利用率の向上を図る。

■ 清水デイサービスセンターやすらぎ荘

利用者のニーズに合わせたサービスの充実と、機能訓練の成果を日常生活において発揮することが出来るよう支援を行う。

- ① 理学療法士等による生活リハビリを重視した訓練を提供する。
- ② 利用者が心地よく利用できる環境づくりのため職員研修を行う。
- ③ 介護保険制度の動向について、利用者や家族に理解しやすいよう説明を行う。

■ 屈足デイサービスセンターやすらぎ荘

利用者のニーズに応じたサービスの充実を図り、実際の生活に沿った生活動作訓練を提供し、在宅生活の継続ができるよう支援する。

- ① 利用者の意見を聞く場を設け、利用者の希望やニーズに合わせたサービスを提供する。
- ② 生活動作向上目標とした、自立支援サービスの充実を図る。
- ③ 地域行事参加や介護教室等の開催を通して、地域との連携を図る。

■ 居宅介護支援事業所新得やすらぎ荘

利用者・家族の意思及び人格を尊重し、医療・行政と連携を図りながらケアマネジメント技術を活用して、心身状況や環境に応じて住み慣れた地域で尊厳のある生活を営むことが出来るよう支援を行う。

- ① 医療機関や行政機関、サービス事業者等との情報交換で連携を密にし、在宅生活の継続を支援する。
- ② サービスの質の確保に努めると共に、積極的アピールにより利用しやすい環境を整える。
- ③ 地域の各関係者と連携し、専門職として地域貢献に取り組む。

■ 訪問介護支援事業所新得やすらぎ荘

利用者のニーズに合わせたサービスを提供し、地域で安心して在宅生活が継続できるよう支援を行う。また多種にわたる事業展開により、地域の福祉サービスの充実に寄与できるよう努力する。

- ① 利用者の日常生活全般の状況及び希望を踏まえた訪問介護計画を作成し、関係者とも協力しながら利用者の在宅生活の継続を支援する。
- ② 職員会議等の機会を利用して研修を行い、訪問介護員の資質向上を図る。
- ③ 初任者研修事業を実施し、地域住民の資格取得の機会を提供し、人材確保を目指す。

■ 養護老人ホーム ひまわり荘

介護保険法及び関係法令を遵守し、利用者の主体性と自立支援に配慮した個別支援計画書を作成し、その上で計画書に沿った支援と介護サービスを行う。抑制防止の徹底や事故防止、認知症の対応、感染症の防止等、より良い介護サービスの提供を行い、常に利用者の立場に立ったサービス支援を行い、利用者、家族から「安心と信頼」を得られるよう支援していく。

- ① 事故が発生した場合は緊急事故防止委員会を開催し事故の検証、分析を徹底して行い再発防止策に努め、月1回の事故防止委員会で再発防止策の評価及び見直しを行う。
- ② 利用者個々の身体状況に合わせた介護が、提供できるよう介護技術の向上に努める。
- ③ 個別支援計画を作成し、利用者個々に合わせた支援と介護サービスの提供を行う。



屈足手打ちそばの会による
そば打ち



各施設フォトアルバム（もちつき・節分）



わかふじ寮

田中皎一氏の顕彰碑建立 ～わかふじ寮設立60周年事業～

昭和28年4月に身体障害者授産施設を創設してから、今年で60周年を迎えるにあたり、創設者の田中皎一氏を称える顕彰碑の除幕式を行いました。除幕式には法人役員、各施設長、利用者の代表が出席、設立60周年の節目を迎える年での顕彰碑建立となりました。顕彰碑はわかふじ寮の正面玄関の西側に建てられ、田中皎一氏の遺影と功績、経歴が掘り込まれました。

これからは傍から施設の今後の発展を見守ってくれる事と思います。



▲青空の下、鈴木理事長、田中常務、後藤家族会会長、利用者代表の柳瀬さんによる除幕式



屈足わかふじ園

喫茶の日

～喫茶店の『喫茶・』開店しています～

利用者に喫茶店風のメニュー(挽きたてのコーヒーやお菓子など)を食べていただきこうと、3ヶ月に1回程度で『喫茶の日』を設けております。

平成25年度の『喫茶の日』は、「ババロア」・「あんみつ」・「柳月の三方六」を提供しました。甘いお菓子と一緒に挽きたてのコーヒーなど飲んで、楽しんでいただく『喫茶の日』は、喫茶店の雰囲気を味わうことができ、大変好評でした。

1月には、ミスタードーナツのドーナツ各種を選んで食べていただきました。中には種類が多くて、選ぶのに迷ってしまう方もいましたが、こちらも大盛況の『喫茶の日』となりました。



▲ドーナツの中は、
どーなってるかな?



▲ドーナツ美味しい!!



▲『喫茶の日』最高!

わかふじ寮

新しい仲間

樋口 大さん (ひぐち だい)

昨年12月に札幌市から入所されました。仕事は木工の機械加工の補助を担当しています。

難しいこともあります、先輩方から色々と教えてもらいながら頑張っています。笑顔が素敵な23歳です。



屈足わかふじ園

十勝ウインドシンフォニー演奏会

～過去最大人数で大盛り上がり!!～

11月30日に屈足わかふじ園家族会との共催で、今回で6回目となる十勝ウインドシンフォニー演奏会を行ないました。十勝ウインドシンフォニーは、主に帯広市内で活動されている吹奏楽団で、メンバーは社会人で構成され、今回はそのうちの23名のメンバーにお越し頂きました。

演奏会では、昨年のNHK朝ドラ『あまちゃんのテーマソング』から始まり、『ガッチャマン』、『川の流れのように』、『そりすべり』など、利用者の世代に合わせた9曲を披露して頂きました。また曲間には、楽器紹介コーナーを設けて下さり、素敵なお色に感動しました。

中でも盛り上がったのは『ヤングマン』で、曲中の♪Y・M・C・Aの箇所では、皆さんで歌いながら、体で表現し、大盛り上がりました。

1時間ほどの演奏会でしたが、利用者・職員共々拍手が絶えず、あっという間に時間が過ぎた演奏会でした。



▲今年もお越し頂き、ありがとうございます



▲皆さんで♪ Y・M・C・A～

やすらぎ荘・新得やすらぎ荘

やすらぎ荘

新春お楽しみ会 ～福よ来い来い！～

年が明けた1月3日、やすらぎ荘では新春お楽しみ会がありました。

『運試し！福を乗っけて』『宝当てゲーム』『福笑い』とお正月らしい3つのゲームに25名ほどの利用者の皆さんのが参加し、大盛り上がりの一時となりました。

『運試し！福を乗っけて』は大きなお手玉を各得点ボードめがけて投球する個人戦で、高得点を目指し白熱した戦いとなりました。『福笑い』では三者三様のおかしな顔が完成するとみんなで大笑いし、新年の幕開けに『福』を招くことができました！



▲高得点目指して投げます!!



▲どっちが
キレイかな?

町民芸能藝術祭

～渾身の一曲～

11月4日新得公民館大ホールで行われた町民芸能藝術祭の舞台部門に15名が参加し手話の歌を披露しました。

今年も当初は例年通り2曲を発表する予定でしたが、利用者皆さんのが完成度の高い物を披露したいという強い想いがあり復興支援曲「花は咲く」の1曲に絞って取り組みました。その為、本番当日は皆さん練習以上に集中され、とても良い手話の歌を披露する事が出来ました。

会場いっぱいから暖かい拍手を頂き、利用者の皆さんお一人お一人の顔に達成感が溢っていました。



▲職員も利用者も緊張しております



▲皆さん真剣な表情!!

新得やすらぎ荘

新春ゲーム大会

～いくよー！それっ！～

1月3日、新春ゲーム大会があり、風船バレーとくじ引きを行いました。風船バレーは紅白の2チームに分かれて行いました。車椅子で参加の方も後ろにひっくり返りそうになりながらも必死に風船を返そうとしている姿に、職員は少しヒヤヒヤしましたが、楽しい時間を過ごせたと思います。

くじ引きではおみくじになぞらえて、大吉・中吉・小吉の3種類のくじがあり、大吉を引いた方々は大喜びしていました。くじ引きでは景品として皆さんにお菓子が当たり、ゲーム大会が終わってからお茶と共に美味しく頂きました。



▲「ほっ！ きたきた！」

新得やすらぎ荘

鍋の会

～鍋をつついで、寒い冬を乗り切ろう！～

11月22日、夕食時に鍋の会を開きました。

鍋には、鯵、ホタテ、エビなどの海の幸や、野菜、豆腐、うどん等たくさんの具材があり、「おいしい、おいしい」と箸が止まらない様子でした。

同じテーブルの方々と談笑され、食べ終わった後は「お腹がいっぱいだ～」と幸せそうな顔を見る事ができました。

寒い冬に差し掛かり気温も下がってきましたが、温かい鍋を皆さんで食べ、心も体も温たまた事思います。



▲夫婦で仲良くハイ☆チーズ



▲「うどん、うまいなあ～」

デイサービスセンター

手作り百人一首

正月の遊びに百人一首を行っています。今まで字が難しく出来る人が限られていきました。皆が参加できる百人一首を作り、他者との交流する時間が増える事を目標に新百人一首作りに取り組みました。

パソコンで現代の文字に直し、利用者さんが札の形に切り、百人一首の台になる発泡スチロールのような物に職員が貼りつけて出来上りです。2組作りました。

今までの百人一首をする人と、新しい百人一首に参加する人でたくさんの方が参加できるようになりました。



▲「乙女の姿 しばし〜♪」

ひまわり荘

岩佐彰with♪super session演奏会 ～毎年恒例、演奏中ノリノリ～

12月8日、岩佐彰with♪super sessionの方々が来荘されました。

演奏が始まると、手を叩きながらリズムをとっていました。演奏の途中にボーカルから「踊ってもいいですよ」と声が掛かると数名の利用者と職員が、演奏に合わせて踊りました。



▲ノリノリの音楽で踊っちゃった!!

ひまわり荘

新得保育所交流会

～子供達の姿を見て元気をもらう～

11月22日、新得保育所の園児39名と保育士8名の方々が来荘されました。園児達はフラフープの輪の中を飛び、ゴムボールでの玉付きやマットの上でんでんぐり返し、軽やかなジャンプで縄跳をする運動遊び、園児全員の元気な合唱や小さい体をめいっぱい使いジャンプやガツツポーズを取り入れたお遊戯を披露してくれました。

交流会終了後は、園児全員が利用者の席を回り、利用者はやさしいまなざしと笑顔で握手や頭をなでて、お礼のお菓子を渡しあ別れをしました。

▲所長先生挨拶
「ソワソワドキドキの園児」

▲笑顔で園児と握手

ひまわり荘

十勝川温泉笹井ホテルへの日帰り旅行

～利用者に人気の観劇旅行～

2月14日 笹井ホテルに利用者15名、職員4名で「劇団三樹屋」の観劇を見に行きました。

様々な色の照明を使い、色鮮やかな衣装を着た劇団員や女装した座長による艶のある舞いや男っぽさを感じさせる舞踊の披露、涙あり笑いありの人情劇では、劇中に北海道や帯広、笹井ホテルのネタを取り入れた笑いもあり、最後は皆さん目を潤ませ感動の中幕となりました。

舞踊と劇の合間に、毎年楽しみにしている役者によるグッズ販売があり、行く前からお目当てのトートバックや劇団のお菓子を買い、満面の笑みで役者の方と握手や記念撮影をしていました。



▲演目の合い間に役者と「にっこり」



▲役者の方と記念撮影☆

社会福祉法人厚生協会 人事異動

ひまわり荘

■職名変更

氏名	新職名	旧職名
平 美都里	特定施設入居者生活介護施設 養護老人ホームひまわり荘 介護職員(フルパート)	養護老人ホームひまわり荘 支援員(フルパート)

■施設内異動

氏名	新職名	旧職名
廣瀬 裕美	訪問介護事業所ひまわり荘 介護職員(短時間パート)	特定施設入居者生活介護施設 養護老人ホームひまわり荘 介護職員(短時間パート)

■採用

氏名	所	属
菅 博文	養護老人ホームひまわり荘	支援員(正職員)
瀬下 愛美	特定施設入居者生活介護施設 養護老人ホームひまわり荘	介護職員(短時間パート)

■身分変更

氏名	新職名	旧職名
西山喜代子	養護老人ホームひまわり荘 支援員(フルパート)	養護老人ホームひまわり荘 支援員(嘱託職員)

■退職

氏名	所	属
日下 瞳	特定施設入居者生活介護施設 養護老人ホームひまわり荘 及び訪問介護事業所ひまわり荘	介護職員(短時間パート) 訪問介護員(短時間パート)

わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

■昇格

氏名	新職名	旧職名
東 貴志	障害者支援施設わかふじ寮 副施設長(正職員)	障害者支援施設わかふじ寮 生活課長(正職員)

■異動

氏名	新職名	旧職名
田中 豪太	障害者支援施設 第2わかふじ寮 生活支援員(正職員)	聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘 生活相談員兼訪問介護事業所新得やすらぎ荘訪問介護員(正職員)

■職員登用

氏名	新職名	旧職名
玉川 卓矢	障害福祉サービス事業所 わかふじワークセンター 職業指導員(正職員)	障害福祉サービス事業所 わかふじワークセンター 職業指導員(臨時職員)

■退職

氏名	所	属
田頭 正蔵	障害福祉サービス事業所	わかふじワークセンター

屈足わかふじ園

■採用

氏名	所	属
竹原 節夫	障害者支援施設	屈足わかふじ園 介護職員(フルパート)
池ノ谷さゆり	障害者支援施設	屈足わかふじ園 介護職員(フルパート)

■新得やすらぎ荘

- 5月 合同花見
映画会
長寿会
誕生会
6月 買物外出
おやつの日
誕生会
7月 まつりの日
ふれあい盆踊り
誕生会

- 屈足わかふじ園
5月 花見食事会
6月 夜間想定避難訓練
7月 屈足保育園交流会

■わかふじ寮

- 5月 合同花見・家族会総会
6月 自治会パークゴルフ大会
7月 ふれあい盆踊り

- ひまわり荘
5月 端午の集い
山菜採り
花見ドライブ
6月 避難訓練
家族との交流会
日帰り旅行
7月 買い物外出
保育所交流会

■やすらぎ荘

- 5月 合同花見
帯広外出
健康学習会
長寿の会(山菜採り)
6月 日帰り旅行
施設内ゲーム大会
7月 釣り大会
健康学習会
ふれあい盆踊り
8月 七夕飾り付け
お茶会
茶道

